

知財実務の変革者：Claude Fable 5 導入・活用ガイド

Claude Fable 5の特性を知財実務（特許調査、クレーム作成、FTO等）の視点で整理し、Opus 4.8との使い分けや導入時の注意点を明確に伝える。

Fable 5 vs. Opus 4.8：知財実務における決定的な差分

Claude Fable 5



「賢さの微増」ではなく「完遂能力」の向上

長時間の自律実行、並列サブエージェント、技術画像理解が強化され、証拠を保持したまま複雑な案件を最後まで運び切る能力が向上しました。

Harvey Legal Agent Benchmark **13.3%**

法務タスクの絶対精度において既存モデルを凌駕し、委任可能な下流工程の範囲が大きく広がっています。

Claude Opus 4.8



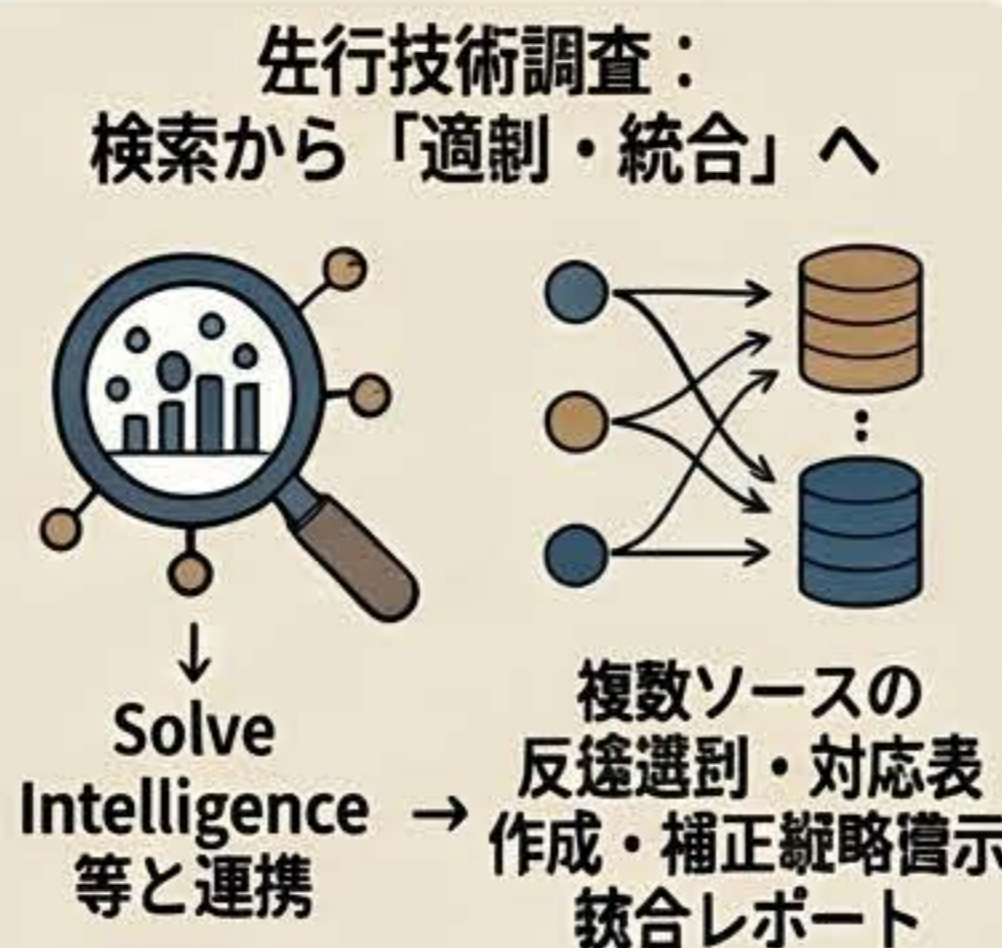
価格とデータ保持要件のトレードオフ

価格はOpus 4.8の2倍であり、かつ「30日間のデータ保持」が必須となるため、最重要秘密案件では引き続きOpus 4.8 (ZDR環境) が推奨されます。

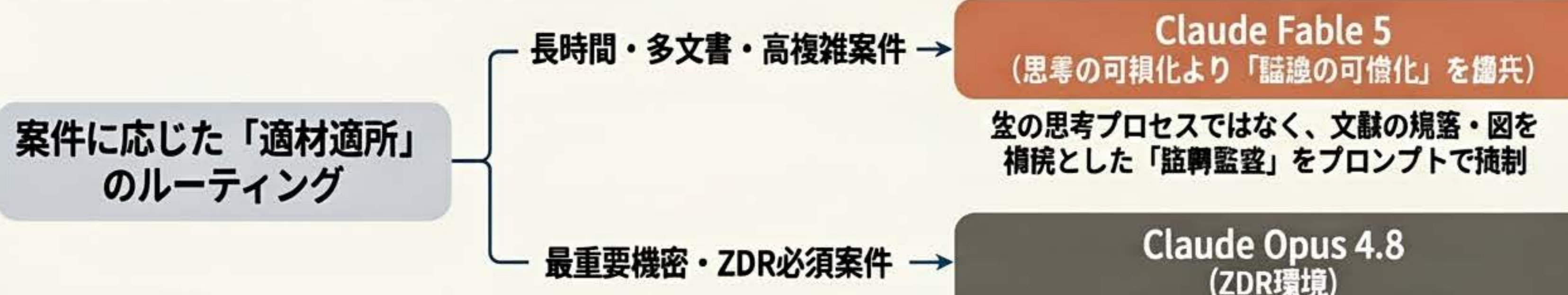
	Claude Fable 5	Claude Opus 4.8	実務上の罫線
推論モード	適応型思考が常時オン	手動でthinking設定が必須	モード設定ミスによる精度低下を防止
技術図面・表	高親度な解釈	一般的なPDF対応	特許図面やSEM画像、比較表の証拠整理に有利
キャッシュ	512トークンから	1024トークンから	標準指示（ブレイブック）を安価に再利用可能
安全性制御	自動フォールバックあり	Fableの主な移行先	生物・サイバー系案件で運用摩擦の可能性

知財ワークフローへの具体的なインパクト

	Claude Fable 5	Claude Opus 4.8	実務上の意味
推論モード	適応型思考が常時オン	手動でthinking設定が必要	モード設定ミスによる精度低下を防止
技術図面・表	高親度な解釈	一般的なPDF対応	特許図面やSEM画像、比較表の証拠整理に有利
キャッシュ	512トークンから	1024トークンから	標準指示（ブレイブック）を安価に再利用可能
安全性制御	自動フォールバックあり	Fableの主な移行先	生物・サイバー系案件で運用摩擦の可能性



実装戦略とガードレール（二層運用の設計図）



必須ガードレール：法域と翻訳の境界

「日本法は日本語思文が優先、実証は参考」といった境界を明示し、AIによる勝手な実行や過剰な自動化を抑制する指示を組み込む

進化のタイムライン

2026年5月12日～2026年6月9日発売

2026年5月12日

法務・知財スタックの整備
12種類のリーガルプラグインと、Solve Intelligence等の知財専門ツールとの連携基盤が公開されました。

2026年6月9日

Fable 5 公開
初の一般向けMythos級モデルとして登場。常時オンの適応型思考を搭載し、知財業務の「オーケストラ」としての地位を確立しました。